

## 義務教育学校・明野地区準備委員会 第4回幹事会議事要旨

- 開催日時 令和4年11月15日（火）午後6時～6時50分
- 開催場所 明野いきがいセンター 多目的ホール
- 出席者 筑西市義務教育学校・明野地区準備委員会幹事会委員23名  
【教育委員会】鈴木部長、島村次長、市塚義務教育学校整備推進課長、その他事務局職員（義務教育学校整備推進課）、廣瀬総務課長、國府田消防防災課長、その他職員

### ■会議経過（概要）

#### 1. あいさつ【鈴木委員長】

#### 2. 議事

##### (1)学校跡地の利活用の方向性について（資料により説明）

- ・次の3点を聞きたい。まず、村田小、上野小及び長讃小については、明野五葉学園のスクールバス乗降所として計画されているが、どうするのか？次に、投票所については、代替場所はどこを予定しているのか？最後に、指定避難所の件についても、代替場所はどこを予定しているのか。【委員】

→民間企業等による学校跡地の利活用のマッチングが図られた場合には、相手方と乗降所として一時的に借りられるかを交渉し、借りられない場合は別の乗降所を検討の必要があり、その検討も進めている。マッチングが図られず、民間企業等の利活用が図られない場合は、継続して乗降所として活用したい。【事務局】

→投票所については、学校跡地利活用基本方針の策定に伴い、見直しの検討を開始したところである。令和5年度末を目途に、自治会長等の意見を頂戴しながら進めていきたいと考えている。【総務課長】

→小学校5校分の新たな避難所については、過去40年程度、実際に避難所として利用されていない状況を踏まえ、明野五葉学園に避難していただくよう考えている。ただ、災害の状況によっては、明野公民館やトレーニングセンターにも避難していただく。【消防防災課担当者】

- ・明野五葉学園まで行けない高齢者はどうしたらよいか？【委員】

→早めに避難所の開設準備及び避難発令をするように努める。市民の皆様にも、「自分が災害発生時にどう行動するか」を普段から考えていただきたい。【消防防災課担当者】

→学校跡地の方向性を公表する際に、市民が「自分が災害時にどの避難所に行くのか」について考えてもらうためのチラシなどを作成し、配布していただきたい。【委員】

- ・確かに、40年ぐらい小学校へ避難していないことは理解しているが、避難所は近くにあった方が心強い。学校跡地を市として維持しないことに、私の意見としては大変残念に思う。

【委員】

→筑西市でも少子化が進んでおり、その影響により学校の統合として明野五葉学園の設置を進めているところである。市が学校跡地を行政で利活用するとなると、将来の筑西市を担う子供たちにも維持管理費用の更なる負担を強いる事になる。その点もお含みいただきたい。【事務局】

- ・避難先が変わることになるため、避難訓練等を実施していただき、いざ災害となった時に自分がどこにどうやって避難するのか、を市民に考えていただくことも必要だと思う。【委員】

本日の皆様から頂いた意見を事務局で持ち帰り、さらに検討していただくということによろしいか？【委員長】 →（一同了承）

→頂いた意見を持ち帰り、「学校跡地利活用検討委員会」の中で協議、検討させていただく。意見に対する回答については、改めて日程を調整し、お答えさせていただく。【事務局】

(2)その他 特になし

### 3. その他

(1)明野地区準備委員会各部会の今後の予定について

(2)次回の会議について（別添、開催通知を配付。（第5回幹事会：12/22（木）））

以上